

# 指導

本書では、アセスメントと指導とをリンクさせ、効果的な指導の提供をめざします。

# アセスメント

(MIM-PM: めざせ よみめいじん)

子どもの伸びの捉え、  
つまずきの早期把握、  
早期支援、個に応じた指導

科学的根拠に基づいた指導法を用いることによる高い指導効果

アセスメントの結果を指導に活かす

指導の効果をアセスメント(MIM-PM: めざせ よみめいじん)で確かめる

語の読みの中でも、特につまずきが多いのが「特殊音節(※1)」(のびる音、つまる音、ねじれる音)。通常の学級に6.5%の割合(クラスに1~2人)で在籍するとされる、LD(学習障害)のような学習に困難のある子どもは、特殊音節の習得につまずきを示す場合が多いのです。

## MIM(ミム)とは何か?

MIM(※2)とは、全体から個へ、すべての子どもたちに効果的指導を隔々まで届けようとする通常の学級における学力指導モデルです。一人一人を丁寧にみていくアセスメントを効果的指導へとつなげていくというねらいから、アセスメントと指導をひとまとまり(パッケージ)にしました(※3)。

## MIM「読みのアセスメント・指導パッケージ」でめざすこと

子どもたちの読みの流暢性を育むことがねらいです。右図のように、文字や語を正確に、素速く読むこと(流暢性)が、ひいては、読解力へとつながっていくと考えます。



## MIMにおける取り組み

3つの指導ステージから成っています。

## 1stステージ

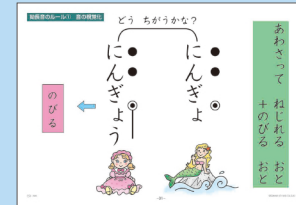
通常の学級での効果的な授業

全ての子ども

子どもたちにルールを明確に伝えるために



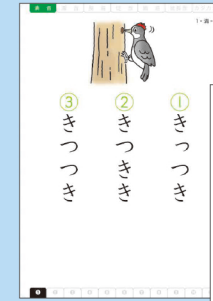
ガイドブック



ルール説明用カード

通常の学級での授業の中で活用できるように作られた教材です。

読みの流暢性を高めるために



ことば絵カード

ちょっとプリント



はやくちことばしゅう

「語を逐字でなく、かたまりとして捉えること」「日常的に用いる語彙の拡大と使用」をめざした豊富な教材が用意されています。

異なる子どものニーズに対応していくために



MIM実践事例集



読み書きに関するゲーム集

1stステージの指導方法を少しアレンジすることで、異なる子どものニーズに対応していきます。「実践事例集」や、ガイドブックにある「読み書きに関するゲーム集」にもヒントが満載です。

小集団や個別で、集中的な指導を行うために

1stステージ指導での基本原則を用いながら、小集団(または個別)で、集中的に指導していく際の方法や教材の活用例があります。具体的な指導法は「ガイドブック」「実践事例集」などに記載されています。

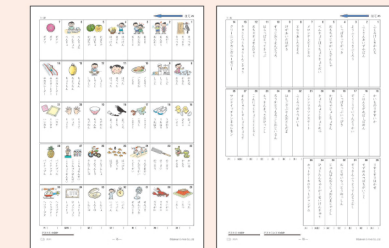
通級等、特化した場においても、MIMの指導法および教材は十分に活用できます。アセスメントの結果を個人レポートにすることで、子どもと一緒に伸びを実感することもできます。読みの苦手な中学年以降のお子さんに活用された事例も報告されています。

## 果たしてMIMの効果は?

- 特別な支援を必要としている子どもはもちろん、異なる学力層(特に学習が得意な子ども)においても、平常の授業をしていた群と比べて、有意な差(読みに関する検査得点の高さ)がみられました。
- MIMを実践した群と平常の授業実施群との間で差がみられた内容を見ると、特殊音節の読みに限らず、特殊音節の書き、読書力の総合的な力(読解等を含む)にまで及ぶことがわかりました。

MIMは、異なるニーズのある子どもに対して、  
特殊音節を中心とした語の正確で素速い読み、  
流暢性のある読みの実現を支えます。

子どもの伸びを具体的に把握するために



「正確な表記の語を素速く認識する力」「語のまとまりを素速く認識する力」をみる2種類のテスト構成(11回分用意)。

- 隔週または月に一度実施し、子どもの習得の進捗状況を確認することができます。
- 1回のテストにつき1分ずつ(計2分)で実施可能。通常の学級で、短時間で、一斉実施が可能です。

結果をMIM-PM活用ソフトに入力することで、  
さまざまな情報を得ることができます。

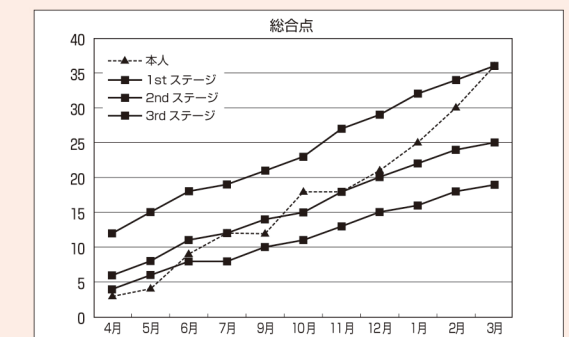
## クラスレポート

クラスのアセスメントの結果が一目でわかります。各ステージ指導対象の子どもが異なるマーカーで示されるので、早期に子どものニーズに気づくことができます。

| 氏名   | テスト総合点 | テスト①正答数 | テスト②正答数 | 前回との比較 |
|------|--------|---------|---------|--------|
| はなこ  | 40     | 17      | 23      | 1      |
| たろう  | 35     | 16      | 19      | 8      |
| まさお  | 32     | 14      | 18      | 0      |
| みきえ  | 27     | 18      | 9       | 7      |
| だいすけ | 24     | 12      | 12      | -1     |
| あやこ  | 18     | 12      | 6       | 6      |
| けんじ  | 17     | 10      | 7       | 4      |
| みほ   | 16     | 9       | 7       | 3      |
| なおこ  | 14     | 8       | 6       | -1     |
| いちろう | 13     | 6       | 7       | -1     |
| やすお  | 11     | 7       | 4       | -1     |
| ひであき | 9      | 5       | 4       | 1      |
| 平均   | 21.3   | 11.2    | 10.2    | 2.2    |

## 個人レポート

各子どもの伸びがわかります。どのように子どもが学習しているのか、指導の効果は出ているかをみることができます。



## 個別の配慮計画

蓄積されたテスト結果から、2学期になると自動的にクラスごとの「個別の配慮計画」が作成されます。

1stステージ, 2ndステージ  
指導では伸びが乏しい子ども

(※1)特殊音節は、他の仮名文字のように、文字と音とが一対一に対応しないため、頭の中の音の操作が困難な子どもにとって、習得が難しいと考えられます。

(※2)MIMとは、Multilayer Instruction Model(多層指導モデル)の略称です。

(※3)MIMの中に登場するアセスメントや指導法は、研究(文部科学省科学研究費補助金等)を通して、これまで8000を超える現場の先生や子どもたちの協力により科学的な根拠を得ながら完成しました。